

# 令和6年度ふるさと・棚田支援事業計画

## 1 事業の目的

- ①農地（棚田）や水路等の多面的機能に係る府民理解の拡大を図る。
- ②農地（棚田）や水路等の維持管理と多面的機能の良好な発揮を図る。
- ③都市農村交流等の活用による地域活動の活発化と農村地域の現状に対する理解の拡大を図る。

## 2 活動予定

### ①ふるさと発見隊

次世代を担う子供達が地域内外の人達と一緒に、農業・農村の役割・歴史・文化や里山・水田が育む豊かな生態系等について体験を通じて学習し、ふるさとの農山村に誇りと愛着を高める取組み

局名	内容
山城	○ 小学生による田んぼや農業用施設の学習、見学等
南丹	○ 農業体験や農村（ふるさと）に関する学習（管内）
中丹	○ 小学4年生による体験学習「井堰・ため池について」（管内2校）
丹後	○ 田んぼと農業用排水路周辺の生き物調査（管内4地区） ○ 小学校の授業として行う地域学習（管内2校）

## ②教育実践パートナーシップ活動

水路や農道などの農業用施設の保全活動や地域特産品の試作などを通じて、学校（高校・大学）と農村地域との連携を高める取組み。

局名	内容
山城	○ 和束町と連携した、特産品の考案等（管内1校）
南丹	○ 学生を対象に農業者、企業、団体、学校等と連携し、工事現場の見学や農業体験に加え、地域の食、文化、歴史、環境を学習できる場を提供する「ふるさと未来塾」を継続実施。

## ③広報活動・出前授業・その他

局名	内容
山城	○ 田舎暮らしの魅力発信
南丹	○ 京都丹波田舎暮らしの魅力発信
中丹	○ 各所取組実施時には、新聞・TV等マスコミ各社に対し、積極的な広報対応を実施
丹後	○ ふるさと発見隊等の取組を実施地区以外にも広報 ○ 棚田模型を用いた田んぼや農業用施設等の役割の解説 ○ 活動実施時に新聞社等のマスコミへの積極的な広報活動
京都乙訓	○ イベント等での中山間地域における取組のPR

- 冊子「新・田舎人」配布（農村振興課・各広域振興局において配布）
- 府庁2号館、府農林水産フェスティバル等でのパネル展示